

# 伝灯奉告法要 音御堂(11月17日)に向け本山で講習 「第1シラブル大切に！」

本願寺音御堂2016(11月17日に御影堂で開かれる1200人規模の合唱大会)の事前講習会が5月23日、聞法会館で開かれた。各コーラス団体の代表、住職、坊守など59人が参加した。

声楽家で金沢大学教授の安藤常光さん(大分市・仏言寺衆徒)が指導。「《阿弥陀仏の御名をきき》では♪あみだぶつ〜の「あ」、《生きる》でも♪いかされて〜の「い」など、1つ目の音節(第



1シラブル)を大切に、はっきり歌うように」と具体的に助言した。発声方法、強弱の付け方など技術面の練習を繰り返した(写真)。また、主催する本願寺派総合研究所仏教音楽・儀礼研究室の福本康之室長が楽曲解説を行った。

講師陣の惜しめないアドバイスに、参加者たちは熱心にメモをとりながら、6曲を3時間かけて練習。歌声が大きく変化するのわかるほどの上達を見せた。

安芸教区寺婦コーラス会員の高山靖子さんは「厳しい指導が楽しく、実りがあった。救いの喜びを歌う仏教讃

歌は、心と感情が特に大事だとあらためて教えられた。吸収したことを仲間たちにしっかりと伝え、本番に向けてしっかり練習したい」と話していた。

## 参加申し込み締め切りは6月末

合唱大会(御堂演奏会)は毎年、春秋の2回開催するが、今年は伝灯奉告法要を記念しての拡大版。「音御堂2016」への参加は、本願寺出版社で楽譜を購入し、6月30日までに添付用紙で申し込む。定員になり次第締め切る。問い合わせは総合研究所☎075(371)9244。